

2024 年度 Megloo 都内実績経過報告書(2023 年度フォローアップ)

事業名: リユース容器シェアリングサービス「Megloo」の社会実装に向けた取り組み

報告者: 株式会社カマン

報告対象期間: 2024 年 4 月 ~ 2025 年 3 月現在

■ ローカル地域での展開

2024 年度も地域密着型での実装を継続。以下のエリアでサービスを拡充。

- ・ 中目黒エリア

弁当容器に加え、リユースカップ運用を新たに開始。ONIBUS COFFEE や Impact HUB Tokyo のカフェで導入され、地域住民やワーカー向けに提供している。

- ・ 蔵前エリア

elab と連携し、リユース弁当容器の利用が継続中。elab ではゼロウェイストデリバリーを行っており、都内環境配慮型イベントで Megloo を活用したケータリングを実施している。

■ 商業施設・オフィスでの展開

商業施設やオフィス連携も進行し、実証を実施。

- ・ 代官山 TENOHA(2024 年 10 月)

サーキュラーエコノミーを実装させるコミュニティ活動「CIRTY(サーティー)」において、リユース容器循環プロジェクトの実証実験を実施。会員制シェアオフィス「ビジネスエアポート」にリユース回収ボックスも併設。

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/0000000005.000120052.html>

- ・ 麹町三葉ビル(2025 年 1 月)

麹町三葉ビルのキッチンカーにリユース容器を試験導入。QR コード管理による貸し借りで返却率 100%を達成。

http://www.mitsuba-inc.co.jp/news_2025_02_27.html

■ イベントでの活用実績

複数イベントにて、リユース容器の導入・運用を実施。来場者への啓発と実利用の両面で成果を挙げた。

- ・ ZEBRAHOOD 2024(下北沢)
飲食エリアにてリユース容器を使用。
- ・ ネオ屋台村(有楽町)
ケータリングイベントでの活用が広がり、使い捨て容器削減への貢献。
- ・ 東京都環境局主催 リユース体験イベント
都の体験イベントに出展し、一般来場者にリユース容器を体験してもらう。

などその他にも企業のケータリングやイベントなどで多数利用。

■ 今後の展望

・ RFID を活用した容器管理システムの開発し、Jリーグスタジアムでのリユース全面対応を他県で展開中。今後は、都内の大規模スポーツイベントやフェス、祭り等での実装を目指す。

・ 飲食チェーンや商業施設、オフィスビルとの連携強化を進め、都市部での継続利用・スケール拡大を推進。

以上